

2024年度

学校法人ホスピタリティ学園

事業報告書

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

○学園理念

世界観を持ち、おもいやりのある人財を育む

私たちは、思いやり溢れる笑顔と温かな対応を大切にします。励まし合い、
支え合いながら成長する教育環境を築くことで豊かな心を育み、業界との
信頼関係構築と発展に貢献します。

○教育目標

1. 相手の立場に立って考え行動できるホスピタリティ教育

「相手の立場に立って考え行動できる」資質、能力を、学校生活全般、
講義、演習、実習、研修旅行、各種行事を通じて身に付ける。

2. 職業現場で活躍できる職業実務実践教育

職業現場で活躍できる能力、健全な職業観、専門知識及び技能を、
企業等との連携を通して習得する。

3. 生涯にわたって、教養を高めて、自己啓発ができる動機づけ教育

時代、環境の変化に適応し雇用され続けるために、生涯にわたり自ら
学ぶ姿勢を習得する。

4. 地域社会、国際社会で役割を果たせるグローバルな教育

環境や価値観の異なる人たちと相互理解にいたる能力を身につけ、
ホスピタリティ産業全体の発展に貢献できる人材となる。

(2) 学校法人の沿革

1973 年 トラベルジャーナル旅行学院開校

1975 年 (一社)日本旅行業協会(JATA)推薦校となる

1977 年 (一社)全国旅行業協会(ANTA)推薦校となる

1980 年 東京都より学校法人、専修学校として認可され、
 トラベルジャーナル旅行専門学校と校名を改める

1981年 大阪トラベルジャーナル旅行学院開校
 太平洋アジア観光協会(PATA)日本支部推薦校となる

1986 年 大阪府より専修学校として認可され、
 大阪トラベルジャーナル旅行専門学校と校名を改める
 アメリカにシアトル校開校

1990年 夜間部旅行本科開設

1991年 (一社)日本海外ツアーオペレーター協会(OTOA)推薦校となる
 海外ホテル協会(OHEA)推薦校となる

1992 年 オーストラリアにメルボルン校開校

1994 年 大阪校、トラジャル旅行ホテル専門学校に校名変更

2001 年 東京日本語文化学校開校
 (公社)日本ブライダル文化振興協会(BIA)推薦校となる

2002 年 (一社)日本添乗サービス協会(TCSA)推薦校となる

2007年 学校法人トラベルジャーナル学園に法人名変更
ホスピタリティ ツーリズム専門学校に校名変更
ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪に校名変更

2011年 大阪ブライダル専門学校開校

2012年 オーストラリアのメルボルン校閉校

2013年 東京ブライダル専門学校開校
東京日本語文化学校閉校

2018年 大阪ホテル専門学校開校
大阪テーマパーク・ダンス専門学校開校

2019年 台湾・台北校開校

2024年 エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京に校名変更
大阪鉄道・観光専門学校に校名変更
大阪外国語・ホテル・エアライン専門学校に校名変更
台湾・台北校閉校

(3) 学校・学科等の学生数の状況 (2024年4月現在) (単位：人)

学校名・学科名		入学定員数	収容定員数	現員数		摘要
エアライン・鉄道・ホテル・ テーマパーク専門学校 東京	旅行科	40	80	1年	11	
				2年	11	
				小計	22	
	ホテル科	60	120	1年	52	
				2年	35	
				小計	87	
	テーマパーク科	60	120	1年	47	
東京ブライダル 専門学校				2年	46	
				小計	93	
	総合英語科	20	40	1年	11	
				2年	8	
				小計	19	
	エアライン科	80	160	1年	60	
				2年	57	
小 計				小計	117	
	鉄道科	40	80	1年	37	
				2年	49	
				小計	86	
	ブライダル科	120	240	1年	134	
				2年	110	
				小計	244	
小 計		420	840	1年	352	
				2年	316	
				小計	668	

学校名・学科名		入学定員数	収容定員数	現員数		摘要
大阪鉄道・観光 専門学校	<昼間部> 鉄道・観光学科	70	140	1 年	56	
				2 年	42	
				小計	98	
大阪ブライダル 専門学校	<昼間部> ブライダル学科	140	280	1 年	102	
				2 年	121	
				小計	223	
大阪外国語・ホテル・ エアライン専門学校	<昼間部> ホテル・エアライン学科	120	240	1 年	102	
				2 年	89	
				小計	191	
	<昼間部> 外国語学科	60	120	1 年	22	
				2 年	-	
				小計	22	
	<夜間部> ホテル学科	-	60	1 年	-	※
				2 年	2	
				小計	2	
大阪テーマパーク・ダンス 専門学校	<昼間部> テーマパーク学科	100	200	1 年	95	
				2 年	78	
				小計	173	
小 計		490	980	1 年	377	
				2 年	332	
				小計	709	
アメリカ・台湾 留学中	東京	-	-	21		
	大阪	-	-	25		
合 計				1 年	729	
				2 年	648	
				留学中	46	
				合計	1,423	

※1. 1年生の募集を停止した学科

(4

) 施設等の状況

①主な施設設備の状況は次のとおりである。

【校地】

施設等	所在地	面積	帳簿価額	備考
東京校A館敷地	東京都中野区東中野 3-18-11	871.00 m ²	2,219,981,250 円	
東京校B館敷地	東京都中野区東中野 3-17-11	293.64 m ²	993,729,750 円	
大阪校1号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-6-29	569.73 m ²	1,432,553,000 円	
大阪校2号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-1-24	397.65 m ²	1,434,105,000 円	

大阪校 3 号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-1-25	463.07 m ²	262,049,529 円	
黒磯敷地	栃木県黒磯市青木字大輪地原 35-2 他	3,279.00 m ²	29,320,000 円	
湯河原敷地	静岡県熱海市泉元門川分 88-3-417	56.65 m ²	4,158,256 円	
御殿場敷地	静岡県御殿場市東田中 1512	7,175.80 m ²	264,660,681 円	
合計		13,106.54 m ²	6,640,557,466 円	

【校舎】

施設等	面積	帳簿価額	備考
東京校 A 館	3,994.75 m ²	1,192,375,313 円	
東京校 B 館	1,149.58 m ²	399,781,739 円	
大阪校 1 号館	3,063.63 m ²	925,019,159 円	
大阪校 2 号館	2,520.04 m ²	451,123,345 円	
大阪校 3 号館	2,894.79 m ²	454,916,440 円	
湯河原	76.76 m ²	24,968,732 円	
御殿場	3,599.72 m ²	785,434,715 円	
構築物		155,838,516 円	
合計	17,299.27 m ²	4,389,457,959 円	

【収益事業用土地】

施設等	所在地	面積	帳簿価額	備考
ドミール City 東中野	東京都中野区東中野 4-6-6	229.00 m ²	92,854,868 円	
ドミール City 東中野 II	東京都中野区東中野 3-13-11	416.53 m ²	669,602,362 円	
コーケン関内ビル	神奈川県横浜市中区南仲通 1-5-1	403.56 m ²	335,450,000 円	
合計		1,049.09 m ²	1,097,907,230 円	

【収益事業用建物】

施設等	所在地	面積	帳簿価額	備考
ドミール City 東中野	東京都中野区東中野 4-6-6	1,127.06 m ²	131,063,937 円	
ドミール City 東中野 II	東京都中野区東中野 3-13-11	1,726.26 m ²	652,313,125 円	
構築物			1,032,617 円	
合計		2,853.32 m ²	784,409,679 円	

2. 事業の概要

～東京～

(1) 教育の実績

【エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京】

訪日外国人観光客の増加や国際的な職場環境に対応するため、1ヶ月間の国内留学や各業界に特化した「業界英会話」、全学科の学生が自由に参加できる「アフタースクール」にて英会話やTOEIC対策、一部学科での毎日30分のオンライン英会話を実施し、リスニング・スピーキング力を強化しています。

その他に「ホスピタリティ研究」や「ビジネスプレゼンテーション」を実施し、自らの思想や視座を論理的かつ情感をもって発信する表現力と、聞き手として傾聴力と対話的理解を深める姿勢を涵養しています。

[企業との連携や課外活動等]

- ① 全学科の学生が企業実習を通じて、実務経験を積む機会を得ました。専門知識を実践的に活用し、理論だけでなく実務におけるスキルや知識を身に付けることができました。さらに、実践現場で発生する様々な問題に立ち合うことにより、実践的な問題解決能力を学ぶことができました。
- ② 公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンターのご協力のもと、全学科の学生がパラ・パワーリフティング選手の講演会「障がい者のリアルからみなさんの業界に合わせたコミュニケーション方法を学ぶ」を聴講しました。この講演会を通じて、学生たちは障がい者への理解を深め、支援の重要性を学ぶ貴重な機会を得ました。

<観光科>

9月に旅程管理実務研修として、株式会社ツーリズムエキスパートにご協力いただき、添乗員の資格を取得するための研修を実施しました。添乗員の誘導方法などを学び、添乗員としての実務に触れ、職業選択の参考や職業観が深まりました。

<ホテル科>

1年生全員がホテル企業で、夏季および冬季休暇中に、ホテル企業での実習を行いました。現場実習を通して、職業観の育成や企業理解を深め、就職活動の準備を進めることができました。公開授業では26社50名の方にご来校いただき、学生と企業の貴重な交流の場となりました。

<テーマパーク科>

2年生全員が、株式会社花やしきにて成果発表として、1年間かけてイベントの提案、準備、当日運営(2日間)を行いました。当日は多くの来園者の方にご参加いただき、イベント運営の実務を体験する貴重な機会となりました。1年生全員が夏休み・冬休み期間に23社の企業で実習を行いました。複数の企業での実習を通じて、各企業の業務内容や客層の違いを学び、就職活動の参考とする事ができました。

<エアライン科>

株式会社 JAL スカイや JAL 安全啓発センター、ANA ブルーベースを訪問し、お客様から見えない部分を見学することができ、目指す業界の理解が深まりました。1 年生が 12 月に成果発表としてホスピタリティスキルコンテスト(グランドスタッフと客室乗務員の対応力を競うコンテスト)を実施しました。航空会社の人事、訓練部の方々(9 社 13 名)も審査員として参加いただき、客観的な評価をいただきました。

<総合英語>

1・2 年生が、成果発表としてスピーチコンテストを実施しました。英会話スクール講師やクルーズ会社より審査員を招待し、さらに Youtube で保護者や教員に配信し、留学前後のレベルアップを感じていただき、高評価をいただきました。

<クルーズコース>

クルーズ企業からの講師派遣を受け入れ、クルーズ業界の理解、職業観の育成を行いました。また課外活動として郵船クルーズ株式会社の「飛鳥Ⅱ」乗船見学を実施しました。

<鉄道科>

鉄道会社 16 社のご協力をいただき、朝の通勤時の駅務補助を行う「駅実習」を全員必修で実施しました。6 月には、東日本旅客鉄道株式会社総合研修センターのご協力のもとに鉄道安全体験研修を行いました。就職に向けて安全への意識を高めることが出来ました。

【東京ブライダル専門学校】

エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京と同様に、業界に特化した「業界英会話」、全学科の学生が自由に参加できる「アフタースクール」にて英会話や TOEIC 対策を実施し、リスニング・スピーキング力を強化しています。

その他に「ホスピタリティ研究」や「ビジネスプレゼンテーション」を実施し、自らの思想や視座を論理的かつ情感をもって発信する表現力と、聞き手として傾聴力と対話的理解を深める姿勢を涵養していきます。

また、2 年間で 4 つの成果発表を通して、課題解決力、人間力とコーディネートスキルの習得を目指しました。

[企業との連携や課外活動等]

- ① 実習開始前に企業実習説明会を開催し、業務理解を深めました。説明会では学生が質問を通して企業の担当者に直接情報を求めることができ、同時に企業側も学生の関心や質問に応えることで相互理解を深めることができました。
- ② 企業の人事担当の方をお招きし、人材活用セミナーを実施しました。企業が直面している課題を事前にヒアリングし、企業の垣根を越えたグループを構成し意見交換を行いました。

した。課題の明確化と専門学校が取り組むべき教育内容を検討することができました。

- ③ 株式会社テイクアンドギヴ・ニーズと連携し、第一線で活躍されている社員の方を講師として派遣していただき、毎週1回、放課後に特別授業を実施しました。生の現場の話や結婚式の魅力、プランニングについて実践に即した内容を直接指導いただくことで、学生の業界への理解を深めることができました。
- ④ 成果発表「模擬人前挙式(1年生)」「バーチャルウェディング(1年生)」「セールススキルコンテスト(2年生)」「ブライダル発表会(2年生)」を実施しました。成果発表「リアルウェディング(2年生)」では実際の新郎・新婦様を対象とした結婚式を3組挙行しました。

(2) 主な資格の取得実績 (2校合計)

資格名称	取得者数
みんなの外国語検定ゴールド	4名
みんなの外国語検定シルバー	2名
みんなの外国語検定ブロンズ	165名
TOEIC 900点以上	1名
TOEIC 800点以上	3名
TOEIC 700点以上	8名
TOEIC 600点以上	12名
TOEIC 500点以上	18名
全国手話検定3級	37名
全国手話検定4級	78名
サービス介助士	69名
ホテルビジネス実務検定ベーシック2級	48名
レストランサービス技能検定3級	11名
ブライダルコーディネート技能検定3級	82名
国内旅程管理主任者	10名
色彩活用パーソナルカラー検定3級	93名

(3) 奨学金の実績 (2校合計)

【2024年度入学者に対する奨学金】

- ① 特待生制度 20名

筆記試験とグループ面接の結果に応じて支給される奨学金制度

- ② 指定校推薦入学選考 57名

指定高校からの推薦入学生に対する奨学金

- ③ AO入学選考 243名

同選考を受験した入学生に対する奨学金

- ④ AO選抜生制度 12名

AO合格者がプレゼンテーションの結果で支給される奨学金制度

⑤ 英語資格取得奨学金制度 43 名

英語の資格取得に応じて支給される奨学金制度

⑥ 家族推薦奨学金 19 名

入学生の家族が、本校の在校生・卒業生の場合に適用される奨学金

【アメリカ・台湾留学制度生に対する奨学金】

長期留学制度奨学金 21 名

1 年次の出席率等、一定の条件をクリアした留学制度生に対して留学中に適用される奨学金

【外国人留学生に対する奨学金】

日本語資格取得奨学金：1 年生 2 名

(4) 就職の実績

厳選採用に対処すべく、学内での就職セミナーや一部の学科で特別講座を実施しました。また、オンラインを含めた学内説明会や WEB 面接対策などを実施し、学生ごとに指導方法を変えて、より個に特化した指導の強化に努めました。

	エアライン・鉄道・ホテル・ テーマパーク専門学校東京	東京ブライダル 専門学校
就職希望者数	196 名	101 名
就職決定者数	195 名	101 名
内 関連業界就職者	180 名	94 名
その他業界就職者	15 名	7 名

(5) 学生募集 (2025 年度生)

	学 科	入学定員	入学生	充足率
エアライン・鉄道・ホテル・ テーマパーク専門学校東京	エアライン科	80 名	73 名	91.3%
	鉄道科	60 名	43 名	71.7%
	ホテル科	50 名	46 名	92.0%
	テーマパーク科	60 名	57 名	95.0%
	クルーズ科	20 名	11 名	55.0%
	小 計	270 名	230 名	85.2%
東京ブライダル専門学校	ブライダル科	120 名	137 名	114.2%
	合 計	390 名	367 名	94.1%

(6) その他

- ① 自己点検・自己評価の実施により、「私立専修学校教育環境整備費補助金（専修学校評価促進）」として、400 千円（1 校 200 千円）を受給することができました。
- ② 職業教育の質の向上を図り、多くの専門人材を育成する教育の推進を目的とした「私立専修学校職業実践専門課程推進補助金」として、2,855 千円を受給することができました。（エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京 旅行科/ホテル科/エアライン科/テーマパーク科、東京ブライダル専門学校 ブライダル科）
- ③ 観光科生が東京都多摩地域の観光まちづくり案を競う「タマリズムコンテスト」に参加し、未就学児連れのファミリーをターゲットに市の訪問数や滞在時間の増加を目指したイースターイベントを提案し、多摩市経済観光課と公益財団法人東京都公園協会から事業化のオファーをいただき、イベントの企画・運営を行うことで地域貢献をしました。（エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京）

～大阪～

【大阪鉄道・観光専門学校】

観光・鉄道業界が変革を続ける中で求められる資質や能力を育むために、専門的な職業教育と人間性の成長を目的としたカリキュラムを展開しました。職業観の形成と人間力の向上を目指し、実践的な学びを重視しました。具体的には、企業連携による産学協同プログラムや業界人講演、企業研修を全課程に組み込み、現場で役立つスキルの習得を図りました。

[企業との連携や課外活動等]

<観光科>

- ① 株式会社エヌ・オー・イーとの産学連携により、東西校合同の「海外プランニングコンテスト」を実施し、プロジェクト型教育を中心とした授業を展開しました。企業による講演や、最終発表におけるプロフェッショナルな視点からのフィードバックを通じて、学生は業界に即した思考力や企画力を養いました。
- ② バリューマネジメント株式会社との連携では、東西合同授業において愛媛県大洲市を題材とし、地域創生をテーマに街づくりの企画・提案に取り組みました。講演や中間・最終発表には企業にもご参加いただき、実際の地域課題に向き合う中で、学生は課題発見力と解決力を実践的に身につける貴重な体験となりました。

<鉄道科>

JR西日本社員研修センターのご協力のもと、鉄道業界に関する安全研修を実施しました。研修では、社員の方より鉄道業界における安全管理の重要性や、鉄道係員が担う社会的責任について学ぶとともに、「安全とは何か」を改めて考える機会となりました。座学に加えて現場に即した研修内容を通じて、事故防止に向けた細やかな配慮や緊急時の対応マニュアル、安全確認の徹底など、日常業務に潜むリスクとその管理方法について理解を深めました。

【大阪ブライダル専門学校】

企業の協力を得た産学連携プログラムによる職業教育と、人間力を育む教育を柱としたカリキュラムを提供しました。職業教育では、ブライダル業界に求められる幅広い知識を習得できるよう、総合学科としての視点から多角的なカリキュラムを編成しました。さらに、プロジェクト型教育を軸とし、複数科目を連動させることで、学びの集大成として成果発表へと結びつけました。こうした学びのプロセスを通じて、学生一人ひとりの主体性と協働性を育む指導を行いました。

[企業との連携や課外活動等]

- ① 成果発表「バーチャルウェディング」では、新たに飲食を伴う本格的な披露宴の要素を取り入れ、より実践的な授業を展開しました。株式会社テイクアンドギヴ・ニーズをはじめとする7社13名の方々に評価者としてご参加いただき、現場の視点からフィードバックを受ける貴重な機会となりました。

- ② 「ブライダル発表会」は内容を刷新し、一般の方を対象としたブライダルフェアを開催しました。学生が主体となり、SNS を活用した集客からフェアの企画・運営までを手がけ、当日は8組のお客様にご来場いただきました。実践的な学びを通じて、現場感覚や接客対応力の向上につながりました。

【大阪外国語・ホテル・エアライン専門学校】

ホスピタリティマインドを教育の根幹に据え、業界で求められるコミュニケーション能力や課題発見・解決能力といった基礎的な力の向上を目的に、ホスピタリティ科目や産学連携科目において、アクティブラーニングを活用したプロジェクト型教育を実施しました。さらに、企業との連携による長期間の現場実習を通じて、職業観の育成に取り組みました。

[企業との連携や課外活動等]

<ホテル科>

- ① ヒルトン大阪との連携により、「ステイエクスペリエンスの向上」を目的として、海外からの家族旅行で利用されるゲストを対象に、ホテルのロビーでのチェックイン時のアクションを立案し、プレゼンテーションを実施しました。学生ならではの斬新なアイデアや工夫を凝らしたプレゼンテーションに、高い評価をいただきました。
- ② シチュエーショントレーニングの授業では、複数の企業と連携し、実践的な対応力や発想力を養いました。ウォルドーフ・アストリア大阪との授業では、ラグジュアリーホテルならではの高度な接客力や臨機応変な対応の重要性について学びました。また、メルキュール京都宮津リゾート&スパとの授業では、地域資源を活かした連泊促進プランの提案に取り組み、「地元体験」や「食の魅力発信」などをテーマに、実際の運営を意識した実践的な企画に取り組みました。
- ③ レストランプロデュースを学ぶ授業では、ANA クラウンプラザホテル大阪の料理長に全面協力をいただき、レストランを一から作り上げる授業を展開しました。メニュー作成からサービス、調理に至るまで料理長から直接ご指導を受け、おもてなしの極意を学びました。
- ④ インターコンチネンタルホテル大阪と連携した「ホテルマナー研修」では、ベッドメイキング講習、タオルアート研修、業界人講演、施設見学、宴会実務、テーブルマナー講習などの研修を通じて、お客様とスタッフの双方の立場から、ホテルの仕事について幅広く学びました。

<エアライン科>

「スキルコンテスト」では、ANA 大阪空港株式会社と株式会社 JAL スカイ大阪にご協力いただき、大阪校本選の審査員を務めていただきました。学生が現場で働くことへの意識とイメージを深め、また、業界の視点からのフィードバックを通じて、考察を深める貴重な機会となりました。ANA 大阪空港株式会社および CKTS 株式会社による空港見学を実施し、航空業界において他部署と連携して働く仕組みや業務内容について学び、理解を深めました。

<英語科>

資格取得にとどまらず、実用的な英会話力を重視したカリキュラムを実施しました。インバウンド需要の重要性を理解したうえで、海外観光客向けに京都観光プランを企画し、ゲストを招いて1日ツアーを実施する課外活動を行いました。学校での学びを実践の場で活かす貴重な機会となりました。

<韓国語科>

- ① 企業実習では、韓国人宿泊客が約8割を占める北海道・ルスツリゾートホテルと連携し、同ホテルと本学で共同作成したテキストをもとに事前教育を実施しました。事前に学んだ内容を実際の業務に応用することで、実践力を養いました。
- ② 日韓文化研究の授業では、韓国伝統料理の調理体験を通じて韓国の食文化への理解を深めるとともに、在日コリアンの歴史や人権についても学び、語学教育にとどまらない多角的な学びを提供しました。

【大阪テーマパーク・ダンス専門学校】

テーマパークスタッフ科では、学生の主体性とオーナーシップマインドの醸成を目的に、グループワークやディベートを重視したカリキュラムを提供しました。あわせて、豊かな表情や、感情表現の手法を体得することを目的に、表現力を育む授業を展開しました。

ダンス・エンターテイナー科では、人前でのパフォーマンスの機会を増やし、学生自身が課題を見つけて改善に取り組むことにより、心・技・体の向上へつなげました。

[企業との連携や課外活動等]

<テーマパークスタッフ科>

- ① 鈴鹿サーキット、レゴランドジャパン、志摩グリーンアドベンチャー、ネスタリゾート神戸の施設見学会を実施し、人事担当者や卒業生による会社説明会を開催しました。先輩からの体験談を通じて、テーマパークで働く意義や、業務理解をより深める機会となりました。
- ② ホンダモビリティランド株式会社をはじめ、計9社21名の企業関係者を学内に招き、テーマパークにおけるホスピタリティを体現するスキルコンテストを開催しました。日頃の授業で培った表現力を活かし、心のこもったサービスを披露し、高く評価されました。
- ③ イオンモール茨木内のステージをお借りして、卒業制作の発表を実施しました。学生が考案した子ども向けのイベントの開催と芝居を披露し、多くの来場者を集客し、企業からも高い評価を得ました。

<ダンス・エンターテイナー科>

- ① 鈴鹿サーキットとの連携により、同施設のエンターテインメントショーに出演しました。プロと同じステージに立ち、観客の前でパフォーマンスを経験することで、表現する喜びと難しさを体感し、成長の糧となる有意義な経験となりました。

- ② ひらかたパークの協力のもと、園内ステージにて「オリジナルダンスエンターテインメントショー」を実施しました。一般来場者 300 人以上に鑑賞いただき、観客および企業から高く評価されました。学生にとっては達成感を得るとともに、今後の課題を発見する有意義な課外活動となりました。

(2) 主な資格の取得実績 (4 校合計)

資格名称	取得者数
みんなの外国語検定ゴールド	5 名
みんなの外国語検定シルバー	14 名
みんなの外国語検定ブロンズ	148 名
TOEIC 900 点以上	5 名
TOEIC 800 点以上	2 名
TOEIC 700 点以上	4 名
TOEIC 600 点以上	10 名
TOEIC 500 点以上	14 名
全国手話検定 3 級	46 名
全国手話検定 4 級	96 名
サービス介助士	40 名
ホテルビジネス実務検定ベーシック 2 級	48 名
レストランサービス技能検定 3 級	44 名
国内旅行業務取扱管理者	4 名
ビジネス能力検定ジョブパス 3 級	44 名
ブライダルコーディネート技能検定 3 級	80 名

(3) 奨学金の実績 (4 校合計)

【2024 年度入学者に対する奨学金】

- ① 特待生制度 27 名
筆記試験とグループ面接の結果に応じて支給される奨学金
- ② 指定校推薦入学選考 15 名
指定高校からの推薦入学生に対する奨学金
- ③ AO入学選考 309 名
同選考を受験した入学生に対する奨学金
- ④ AO選拔生制度 23 名
同選抜において優秀なプレゼンテーションを行った入学生に対する奨学金
- ⑤ 英語資格取得奨学金制度 42 名
英語の資格取得に応じて支給される奨学金
- ⑥ 家族推薦奨学金 6 名
入学生の家族が、本校の在校生・卒業生の場合に適用される奨学金

【アメリカ・台湾留学制度生に対する奨学金】

長期留学制度奨学金 25 名

1 年次の出席率等、一定の条件をクリアした留学制度生に対して留学中に適用される奨学金

【外国人留学生に対する奨学金】

日本語資格取得奨学金：1 年生 2 名、2 年生 1 名

(4) 就職の実績

	大阪鉄道・観光専門学校	大阪 ブライダル 専門学校	大阪外国語・ ホテル・エアライン 専門学校	大阪テーマ パーク・ダンス 専門学校
就職希望者数	42 名	117 名	81 名	77 名
就職決定者数	42 名	115 名	80 名	73 名
内 関連業界就職者	39 名	103 名	77 名	70 名
その他業界就職者	3 名	12 名	3 名	3 名

(5) 学生募集 (2025 年度生)

	学科	入学定員	入学生	充足率
大阪鉄道・観光 専門学校	鉄道・観光学科	70 名	70 名	100.0%
大阪ブライダル 専門学校	ブライダル学科	140 名	122 名	87.1%
大阪外国語・ホテル ・エアライン専門学校	ホテル・エアライン学科 外国語学科	120 名 60 名	103 名 20 名	85.8% 33.3%
大阪テーマパーク ・ダンス専門学校	テーマパーク学科	100 名	108 名	108%
	合 計	490 名	423 名	86.3%

(6) その他

- ① 私立専修学校専門課程の教員研修と生徒の修学支援に係る体制整備を目的とした「質保証・向上補助金」として、935 千円を受給することができました (4 校合計)
- ② 厚生労働省後援の第 19 回「HRS サービスコンクール 2025 (カレッジ部門)」に 2 名が出場し、うち 1 名が敢闘賞 (全国 4 位) を受賞しました。(大阪外国語・ホテル・エアライン専門学校)
- ③ ホテルビジネス実務検定においては、合格率 91.2% (全国平均 74.8%) という結果を収め、全国平均を大きく上回りました。2 年連続で優秀指導校として表彰され、受験生 2 名は、全国 3 位の成績を収め、優秀賞を受賞しました。

3. その他の主な事業

1) 国内留学制度

グローバル化の推進として接客やトラブル対応における英語コミュニケーションの重要性を考え、全校1年生約700名を対象に1カ月間英会話に特化した国内留学制度「御殿場イングリッシュキャンプ」を2024年度生から導入しました。

英語を使う環境に身を置き、外国人講師や参加者同士の英語コミュニケーションを通じて、「英語を使うこと」に慣れ、学習の習慣や効果的な学び方を身につけることを目的としています。また、異なるバックグラウンドや生活スタイルを持つ学生との共同生活を通じて、多様性への理解と柔軟な対応力の育成をしています。

実施期間	東京校	大阪校
5/14～6/10	エアライン科 総合英語科	エアライン科 英語科
6/11～7/8	ホテル科	ホテル科
7/9～8/5	ブライダル科①	ブライダル科①
8/6～9/2	ブライダル科②	ブライダル科②
9/3～9/30	ブライダル科③	ブライダル科③
10/1～10/28	旅行科	観光・鉄道科 韓国語科
10/29～11/25		テーマパーク科
11/26～12/23	テーマパーク科 鉄道科	

2) 海外長期留学制度

「長期留学制度奨学金」61.8万円の利用で年間学費98万円にて、アメリカ（シアトル）、又は台湾へ1年間長期留学できる制度を導入しています。この長期留学により、語学力（英語、中国語）・国際感覚の優れた学生を当学園からより多く輩出することを目指しています。

<アメリカ長期留学制度>

2024年度はアメリカ（シアトル）にある提携校を受入先として、44名の学生を送り出しました。

【留学から帰国した学生のTOEIC結果】

	東京	大阪	全体
TOEIC 平均点	579 点	573 点	576 点
渡航前の平均点	400 点	389 点	395 点
平均上昇点	179 点	184 点	181 点
最高得点	880 点	880 点	880 点
最高上昇点	355 点	305 点	355 点

＜台湾長期留学制度＞

2024 年度は台湾にある提携校を受け入れ先として 2 名の学生を送り出しました。

3) 職業実践専門課程

エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京

観光科/ホテル科/テーマパーク科/エアライン科

東京ブライダル専門学校 ブライダル科

大阪鉄道・観光専門学校 鉄道・観光学科

大阪ブライダル専門学校 ブライダル学科

4 校は、「職業実践専門課程」に認定されており、教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会を通じて外部の業界専門家の意見も参考にしながら教育内容の見直しと充実化に努めました。

※職業実践専門課程とは、専修学校専門課程であって、職業に必要な実践的、かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うものを文部科学大臣が認定して推奨するものです。

4) 修学支援

文部科学省の「高等教育の修学支援新制度（通称：高等教育無償化制度）」の対象校として、本学園が設置する全学校（東京校 2 校、大阪校 4 校）が認定されており、東京校 118 名（授業料減免額 48,333,200 円）、大阪校 123 名（授業料減免額 52,832,300 円）に修学支援を行いました。

5) SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み

各学科での学びに加え、国際問題、環境問題、人権問題などを通して、SDGs の担い手を育成する為、学生への指導と浸透の活動に学園全体で取り組んでいます。

2024 年度は、SDG s 理解促進と他学科交流を目的として娯楽要素と学習要素を盛り込みながら、クラス毎に学科特性を活かした体験やクイズ、模擬店などのブース運営を行う文化祭を通じて理解促進を図りました。

6) 施設の有効活用

本学園の施設跡地を活用した賃貸マンション「ドミール City 東中野」、「ドミール City 東中野Ⅱ」を外部業者への一括賃貸方式で運営しています。賃貸料による収益事業収入を安定確保することにより、学校経営の財政的基盤を強化して教育効果の向上に役立てることを目指しています。

なお、事業用賃貸ビル（法人向け）として運営していた「コーケン関内ビル」は、老朽化の問題等もあり 2024 年 8 月に取り壊し、解体後は新たな事業展開の検討を進めながら、当面はコインパーキングとして土地の有効活用を図っています。

7) 同窓会奨学金の活用

将来目指す業界においてどのように活躍・貢献したいかの明確なビジョンを持つ

ている旺盛な学習意欲のある在校生をサポートする為、卒業生からの同窓会会費の一部を「同窓会奨学金」（各年次で5万円）として、2024年度1年生の6名に給付しました。

なお、本学園の学校教育に賛同される方に広く寄付金を募り、寄付者が税制上の優遇措置を認められる「特定公益増進法人」の認定（2021年度）を受けています。

8) I T コンサルティングの導入

学園全体のシステムの効率的な再構築とD X推進のための実行施策の実現に向けて学内プロジェクトを立ち上げ、外部の専門コンサルタント会社と連携した活動を開始しました。本年度は、現状のシステム利用状況及び管理体制の可視化、関連帳票の整理を行い、業務変革を見据えた課題抽出を行いました。次年度は課題及び施策の方向性を整理し、具体的な施策の実行に繋げていきます。

4. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 事業活動収支計算書の状況

事業活動収入計は 25 億 4,358 万円、予算比で 1 億 1,697 万円増加し、事業活動支出計は 24 億 512 万円、予算比で 1 億 607 万円増加しました。その結果、基本金組入前当年度収支差額は 1 億 3,846 万円、予算比で 1,090 万円の増加となりました。

《教育活動収支》

教育活動収入計は 23 億 6,172 万円、予算比で 1,674 万円増加し、教育活動支出計は 23 億 5,995 万円、予算比で 6,090 万円増加しました。その結果、教育活動収支差額は 177 万円、予算比で 4,415 万円減少しました。主な内訳は以下の通りです。

- 1) 学生生徒納付金は、進級者が予測数より増加したため、22 億 2,834 万円となり、予算比で 1,312 万円増加しました。
- 2) 手数料は、予算との大きな差がなく、1,597 万円となり、予算比で 6 万円減少しました。
- 3) 経常費等補助金は、「高等教育の修学支援新制度」(通称：授業料無償化制度)の対象者が予測との大きな差はなく、1 億 574 万円となり、予算比で 24 万円増加しました。
- 4) 雑収入は、2 年生から徴収している卒業アルバム代を会計処理の変更により卒業アルバム制作費用と相殺しなかったため 949 万円となり、予算比で 222 万円増加しました。
- 5) 人件費は、教職員の退職・休職による補充を行わなかったことにより、8 億 6,990 万円となり、予算比で 2,270 万円減少しました。
- 6) 教育研究経費・管理経費は、消耗品費と修繕費は教室改修の費用が増加したこと、奨学金は上記 3) の通り対象者が増加したこと、広報費は学生募集における入学案内の発行部数の見直しを行ったことにより、合計 14 億 9,005 万円となり、予算比で 8,360 万円増加しました。

《教育活動外収支》

教育活動外収入計は 1 億 6,229 万円、予算比で 8,088 万円増加し、教育活動外支出はありませんでしたので、教育活動外収支差額は 1 億 6,229 万円となりました。

《経常収支差額》

上述の結果、経常収支差額は 1 億 6,406 万円、予算比で 3,672 万円増加しました。

《特別収支》

特別収入計は1,957万円、予算比で1,935万円増加し、特別支出計は実習室の改修による除却費用などを計上したため4,517万円が発生した結果、特別収支差額は▲2,560万円、予算比で2,582万円減少しました。

② 貸借対照表の状況

有形固定資産は、減価償却費を計上および一部教室の改修を行い除却したため減少しました。

③ 収益事業の状況

ドミール City 東中野、ドミール City 東中野Ⅱ、の2棟の賃貸事業およびコーケン関内ビル跡地を駐車場として賃貸したものに関わるものです。

売上高は9,318万円、販売費及び一般管理費は4,734万円、営業外収益は7万円となりました。その結果、経常利益は4,591万円となりましたが、コーケン関内ビルの解体費用を特別損失として計上したため、税引前当期純損失は▲37,800,876円となりました。

(2) 主な財務比率比較

(%)

比率名	算 式	2024年度	全国平均※3	比較した場合
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$	88.3	76.6	—
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	34.5	42.2	低い方が良い
教育研究・管理経費比率	$\frac{\text{教育研究(管理)経費}}{\text{経常収入}}$	59.0	51.7	高い方が良い
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}} ※1$	9.1	18.3	低い方が良い
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}} ※2$	483.3	321.2	高い方が良い

※1 純資産＝基本金＋繰越収支差額

※2 現金預金には特定資産を加算している。

※3 2022年度数値（専修学校全国平均：「今日の私学財政」専修学校各種学校編参照）